

令和4年度新たな森林管理システム総合研修実施委託業務 質問及び回答

(令和4年3月14日現在)

| No. | 質問項目 | 質問内容 | 回答 |
|-----|---|---|--------------------------------------|
| 1 | <p>「仕様書」 P10「施業プランナー実践力研修」の仕様</p> <p>「参考資料1 令和3年度施業プランナー研修カリキュラム検討会議検討結果」の「施業プランナー実践力向上研修」の内容</p> | <p>仕様では、定員が「10名以内」、研修時間が「36時間以上（6時間／日）」となっていることについて確認します。</p> <p>現時点で10名の研修生が参加する場合の予算の試算をしたところ、以下のような計算で実施することになります。</p> <p>課題把握会 6時間／日 × 1日（10名） = 6時間 現地検討会 6時間／日 × 5日（2名／日） = 30時間 最終報告会 6時間／日 × 1日（10名） = 6時間 合計42時間（仕様の要件は満たします）</p> <p>この場合、「現地検討会」は、10名に対して5日間で実施しようとする、1日あたり2名の現地検討会（1日で2箇所）をすることになります。移動距離的に近い2つの現場を選べば、1日に2名の現地検討会を実施することは可能だと考えており、そのような方向で設計したいと思います。（ただ、現地への移動を考えると現地での検討時間が非常に短くなってしまふことはデメリットです。）</p> <p>一方で、平成3年度の研修では、研修者1名に対して1日の検討が行われました。「参考資料」の「検討会意見」に「基本的には、令和3年度施業プランナー実践力向上研修カリキュラムを踏襲」とあり、これは「研修生1名に対して1日の現地検討をする」と読むことができます。</p> <p>これを踏まえて、令和4年度は、現地検討は研修生1名につき半日という設計で良いでしょうか。正直、研修生一人あたり半日の現地検討会だとすると、移動も含めると実質2時間弱程度の現地ディスカッションになると思います。この場合、令和3年度と比較すると研修の質が十分に担保できるかどうか心配をしているところです。</p> <p>研修の質を担保するにあたっては、研修日数を増やすという選択肢はありますが、そうすると見積もりが予算を大幅に超過してしまいますので提案することができません。</p> <p>返事をいただきたいのは、令和4年度の現地検討会は、1日あたり2名（2箇所）で開催するという、仕様書に則った提案で良いかどうかの確認です。よろしくお願いいたします。</p> | <p>1日あたり2名（2箇所）の開催の提案で差し支えありません。</p> |